

「健常成人を対象とした O-17 安定同位体標識水を用いた  
眼内水動態測定」に参加された方へ

量子科学技術研究開発機構（量研）では、上記の研究において収集された情報（カルテ、画像、検査のデータ）を用いて、視神経領域画像のデータ解析を行い、画像の信号強度の時間的変化があるかどうかの研究を行います。この研究の成果により、視神経周囲の髄液の流れが分かれば、今後の医療へ応用できる可能性があります。この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる方お一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

〔研究課題名〕 *In vivo* ヒト眼のダイナミックMRイメージングデータ解析による視神経周囲髄液信号変化の研究

〔実施期間〕 研究機関の長の許可日～2026年12月31日

〔研究機関〕 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所  
分子イメージング診断治療研究部

〔研究責任者〕 分子イメージング診断治療研究部 小畠 隆行

〔研究の目的〕 *In vivo* ヒト眼のダイナミックMRイメージング研究で得られたデータを使用し、視神経領域における画像データ解析を行い、画像信号強度の時間的な変化が観察されるかどうかを検討します。

〔研究の方法・データの利用方法〕

●対象となる方々

「健常成人を対象としたO-17安定同位体標識水を用いた眼内水動態測定」（臨床研究実施計画番号jRCTs031210082 <https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jRCTs031210082>）の健常ボランティアとして同意しMRI撮像を行った方で、二次利用の同意もいただいている方（MRI撮像は2021年6月～2021年9月に実施）。

●利用する情報及び利用方法

MRI画像、年齢、性別、および問診・背景情報をこの研究の解析に利用させていただきます。具体的には、O-17標識水を点眼した右眼の視神経領域の時間的な

画像信号強度変化を調べ、点眼されていない左眼の視神経領域の信号変化などと比較して検討します。これらは、厳重な安全管理のもとで保存されている情報であり、新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

扱う情報は既に厳重な安全管理のもとで保存されています。専門家が問診・背景情報を確認することはありますが、内部でのみデータは扱われます。研究成果は、誰の情報であるかわからない状態で発表します。個人名などが表にでることはありません。（個人情報保護法及び国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

[問い合わせ窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

量子医科学研究所 分子イメージング診断治療研究部

小畠隆行

電話：043-206-3230（平日；9:00～17:00）